



## <定点把握感染症>

疾患名	全国		山形県				山形市保健所			村山保健所			最上保健所			置賜保健所			庄内保健所			累積(県)
	第38週	第39週	第38週	第39週	増減	第38週	第39週	増減	第38週	第39週	増減	第38週	第39週	増減	第38週	第39週	増減	第38週	第39週	増減	第1~39週	
インフルエンザ定点(定点医療機関数)			(45)				(10)			(10)			(4)			(9)			(12)			
インフルエンザ	3 0.00																					66
小児科定点(定点医療機関数)			(29)				(6)			(7)			(3)			(6)			(7)			
RSウイルス感染症	2398 0.76	27 0.93	11 0.38	▼	3 0.50	1 0.17	▼	1 0.14		▼	14 4.67	8 2.67	▼	7 1.17	2 0.33	▼	2 0.29		▼			3009
咽頭結膜熱	280 0.09	9 0.31	5 0.17	▼		2 0.33	△	3 0.43	1 0.14	▼				6 1.00	2 0.33	▼						388
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	957 0.30	28 0.97	22 0.76	▼	4 0.67	3 0.50	▼	13 1.86	16 2.29	▲				9 1.50	3 0.50	▼	2 0.29		▼			1091
感染性胃腸炎	5916 1.87	53 1.83	35 1.21	▼	12 2.00	4 0.67	▼	12 1.71	10 1.43	▼	1 0.33		▼	18 3.00	15 2.50	▼	10 1.43	6 0.86	▼			2463
水痘	255 0.08	3 0.10	3 0.10			1 0.17	△	1 0.14		▼					1 0.17	△	2 0.29	1 0.14	▼			105
手足口病	3109 0.98	5 0.17		▼				4 0.57		▼							1 0.14		▼			61
伝染性紅斑	31 0.01																					14
突発性発しん	994 0.31	12 0.41	12 0.41		1 0.17	2 0.33	△	1 0.14	1 0.14		1 0.33		▼	7 1.17	3 0.50	▼	2 0.29	6 0.86	△			557
ヘルパンギーナ	1326 0.42	3 0.10	3 0.10					1 0.14		▼				2 0.33	3 0.50	△						381
流行性耳下腺炎	138 0.04	1 0.03		▼	1 0.17		▼															46
眼科定点(定点医療機関数)			(8)				(1)			(3)			(1)			(1)			(2)			
急性出血性結膜炎	2 0.00																					0
流行性角結膜炎	129 0.19	1 0.13	1 0.13		1 1.00	1 1.00																46
基幹定点(定点医療機関数)			(10)				(2)			(2)			(1)			(2)			(3)			
感染性胃腸炎(ロタウイルス)																						1
クラミジア肺炎																						0
マイコプラズマ肺炎	5 0.01																					4
細菌性髄膜炎	5 0.01																					2
無菌性髄膜炎	9 0.02																					0

※表中の数値 上段:報告数 下段:定点当たり報告数  
 ※定点当たり報告数が、▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少

## <全数把握感染症>

疾患名	報告数					備考
	山形市	村山	最上	置賜	庄内	
腸管出血性大腸菌感染症	1			2		※内、追加報告:第38週(1)。 型別:O157 VT型不明(1)、 O157 VT2(1)、O26 VT1 (1)。
レジオネラ症	2					※内、追加報告:第38週(1)。
カルバペネム耐性腸内細菌感染症	1					
結核				1		

## <通信欄>

### ※新型コロナウイルス感染症情報について

新型コロナウイルス感染者等情報把握・管理支援システムの運用開始に伴い、新型コロナウイルス感染症は週報の対象外となりました。

山形県の新型コロナウイルス感染症に関する情報は、右記の「新型コロナウイルス感染症に関連するポータルサイト」をご覧ください。(QRコードを読みとるかPDFファイル上でクリックしてアクセスしてください。)



### ※警報・注意報の基準値

疾患名	警報レベル		注意報レベル
	開始	終息	
インフルエンザ	30	10	10
咽頭結膜熱	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-
感染性胃腸炎	20	12	-
水痘	2	1	1
手足口病	5	2	-
伝染性紅斑	2	1	-
ヘルパンギーナ	6	2	-
流行性耳下腺炎	6	2	3
急性出血性結膜炎	1	0.1	-
流行性角結膜炎	8	4	-

※定点把握感染症のグラフ・全数把握感染症の年間累積数については別紙(グラフページ)をご覧ください。  
 ※ウイルス分離・検出状況については、衛生研究所のHPをご覧ください。

< 定点把握感染症 報告患者数 年齢別 >

インフルエンザ定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	合計
インフルエンザ	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～									0
小児科定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳～	合計
RSウイルス感染症	1	2	4	4											11
咽頭結膜熱			2	1	2										5
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1	3	6	2	2	1	1	1	1	1	3			22
感染性胃腸炎		4	7	2	4	4	3	2	1	1	3	4			35
水痘			1					1				1			3
手足口病															0
伝染性紅斑															0
突発性発しん		1	9	1	1										12
ヘルパンギーナ			1	1			1								3
流行性耳下腺炎															0

< 令和3年8月月報 >

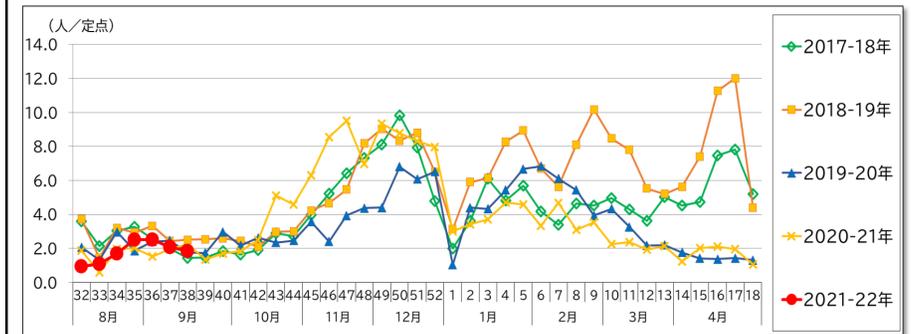
2021年9月22日 発行

疾患名	山形県		山形市		村山		最上		置賜		庄内		累積(県)
	7月	8月											
<b>STD定点</b> (定点医療機関数)	(10)		(3)		(1)		(1)		(2)		(3)		
性器クラミジア感染症	報告数	19	14	5	4			1	5	3	9	6	122
	定点当り	1.90	1.40	1.67	1.33			1.00	2.50	1.50	3.00	2.00	
性器ヘルペスウイルス感染症	報告数	19	3	6	1	1		5	1	4	1	3	70
	定点当り	1.90	0.30	2.00	0.33	1.00		5.00	1.00	2.00	0.50	1.00	
尖圭コンジローマ	報告数	2	4					2	1		1	2	14
	定点当り	0.20	0.40					2.00	1.00		0.50	0.67	
淋菌感染症	報告数	2	5		3						2	2	22
	定点当り	0.20	0.50		1.00						0.67	0.67	
<b>基幹定点</b> (定点医療機関数)	(10)		(2)		(2)		(1)		(2)		(3)		
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	報告数	6	2	2				2			2	2	31
	定点当り	0.60	0.20	1.00				2.00			0.67	0.67	
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	報告数	15	18	1	2	2	5	1			12	10	142
	定点当り	1.50	1.80	0.50	1.00	1.00	2.50	1.00			4.00	3.33	
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告数												0
	定点当り												

< トピックス >

感染性胃腸炎にご注意ください

秋から冬にかけて増加する感染症に感染性胃腸炎があり、山形県でも例年11月以降に報告数が増加します。感染性胃腸炎の対策として、手洗いが重要です。流行期に向けて、石けんと流水を使ったこまめな手洗いを習慣づけましょう。



感染性胃腸炎について

1. 感染性胃腸炎とは？

感染性胃腸炎は、ウイルスや細菌に感染したことにより起こる胃腸炎の総称で、冬季はノロウイルスによる感染性胃腸炎が多くみられます。主な症状は、腹痛、下痢、嘔吐、発熱です。

治療法は、ウイルスを原因とする感染性胃腸炎では、基本的には症状を緩和する対症療法となります。乳幼児や高齢者では下痢などにより脱水症状を生じやすいので、早めに医療機関を受診することが大切です。

2. 感染経路と予防のポイント

感染経路は、感染者のおう吐物や糞便に含まれる病原体が付着した手で、口に触れることによる接触感染、病原体で汚染された食品を食べることによる経口感染があります。



接触感染の予防には、手洗いを十分に行うことが重要です。調理や食事の前、トイレの後は石けんと流水で手を洗いましょう。

患者のおう吐物や糞便を処理する時は、手袋、マスク、エプロンなどを着用し、消毒剤には次亜塩素酸ナトリウム使用(塩素系漂白剤)を使用します。二次感染を避けるため、使用後のペーパー類等は密封して廃棄しましょう。